

# 稲作管理特報

令和4年6月17日  
黒東地域農業技術者協議会

今年は、平年に比べて生育が早まっているので、穂肥は幼穂の長さを必ず確認し、適期を逃さず施用しましょう。

また、幼穂形成期以降は出穂期まで「飽水管理」（足跡に水が残る程度の状態になったら入水する）を行い、根の活力を維持しましょう。

## 1. 「てんたかく」の生育状況（6月13日時点）

区分	田植日	6月13日					
		草丈 (cm)	茎数		葉令 (L)	葉色	
			(本/株)	(本/m <sup>2</sup> )		(SPAD)	(群落)
今年 (R4年)	4/27	32.8	21.0	444	9.9	37.2	4.2
昨年	5/1	33.9	22.8	414	8.9	36.9	4.3
平年	5/5	34.7	22.0	439	9.0	40.3	4.5

## 2. 「てんたかく」の穂肥

### 【基肥一発体系】

- ・基肥に一発肥料（LPs 早生専用特号）を施用したほ場では、過剰な穂肥施用により倒伏や未熟粒の発生が助長されるので、原則として施用はしないでください。

### 【分施肥体系】

穂肥	時期	生育の目安		肥料名及び施用量
		幼穂長	葉色	
1回目	6月25日頃	1~2mm	4.0(※)	「追肥3号」 10kg/10a
2回目	1回目の施用から10日後	—	—	「追肥3号」 12kg/10a

※1回目の穂肥施用前に、葉色が4.0未満と淡い場合は、3日程度早めに施用してください。



## 3. 今後の水管理について

### 【水管理のイメージ図（てんたかく）】

田んぼ1枚当たり、主茎で3本以上幼穂を確認しましょう

